

第13回放射線による非破壊評価シンポジウム

主催：(一社)日本非破壊検査協会 放射線部門

協賛：(公社)精密工学会、(公社)計測自動制御学会、(一社)溶接学会、(一社)日本高圧力技術協会、(一社)日本鋼構造協会、(一社)日本非破壊検査工業会、(一社)日本航空宇宙学会、(一社)軽金属学会、(一社)日本溶接協会、(一社)日本品質管理学会、(公社)日本航空技術協会、(一社)日本ボイラ協会、(一財)建築保全センター、(一財)建材試験センター、(一財)日本溶接技術センター、(一社)日本食品機械工業会、(公社)日本鉄筋継手協会、(一社)日本機械学会、(一社)日本建築学会、(公社)日本金属学会、(一社)日本溶射学会、(公社)日本材料学会、(一社)日本鉄鋼協会、(公社)日本プラントメンテナンス協会、(一社)日本原子力学会 (依頼中)

期日：2022年2月10日(木) 9:30~18:00

開催形式：オンライン (ZOOM)

参加費：	JSNDI 正会員	4,000 円
	登壇者	4,000 円
	学生会員	3,000 円
	協賛学会会員	6,000 円
	非会員	一般 8,000 円
		学生 4,000 円

* 講演論文集は PDF にて配布いたします。

申込方法：協会ホームページ

(<https://sciences.jsndi.jp/radiographic/>) からお申し込み下さい。

問合せ：(一社)日本非破壊検査協会 放射線シンポジウム係

TEL：03-5609-4015 FAX：03-5609-4061

E-mail：yasoshima@jsndi.or.jp

—プログラム—

開会挨拶 (9:30~9:35)

放射線部門主査 釜田敏光 (ポニー工業(株))

1. 放射線線源と非破壊検査 (9:35~12:15)

座長 脇部康彦 (元新日本非破壊検査(株))

1-1 自然放射線を利用した非破壊検査

元大阪府立大学放射線研究センター ○谷口良一
岡本賢一

1-2 放射線透過試験用 Ir-192 球状線源の開発及び今後の適用について

(株)千代田テクノ ○石井 貴

(一社)日本非破壊検査協会 大岡紀一

The Institute of Nuclear Physics Yermakov Yevgeniy

1-3 高線量ガンマ線照射効果評価のためのリアルタイム観察装置の開発

大阪府立大学 ○谷上 慧、宮丸広幸

Le Viet Huy、小嶋崇夫

休憩 (11:05~11:15)

1-4 可搬型加速器中性子源プロトタイプ RANS-II の開発

(国研)理化学研究所 ○小林知洋、池田翔太

大竹淑恵、池田裕二郎

東京工業大学 林崎規託

1-5 中性子イメージングを用いた液体金属流の可視化

京都大学 ○大平直也、伊藤大介

伊藤 啓、齊藤泰司

昼休み (12:15~13:05)

2. 放射線検出器とデジタルラジオグラフィ (13:05~16:45)

座長 富田康弘 (浜松ホトニクス(株))

2-1 Development of Compact Sensor with CdS Photoresistor for High Gamma-ray Field Monitoring

大阪府立大学 ○Le Viet Huy

宮丸広幸、小嶋崇夫

2-2 狭角度散乱線に対する選択的ガンマ線検出と非同時計数法の開発

大阪府立大学 ○藤井 燦

2-3 BNCT における 478keV ガンマ線高感度計測のための遮へい体系の検討

大阪府立大学 ○平松伊織、藤井 燦

Le Viet Huy、宮丸広幸

休憩 (14:35~14:45)

2-4 デジタルラジオグラフィワークフロー及びデータの取扱いについて

富士フイルム(株) ○原田健治、成川康則

野村憲吾、細谷史郎

2-5 F-RT の露出線図に対応した D-RT における撮影条件などの決定における一考察

(一社)日本非破壊検査協会 大岡紀一

(地独)東京都立産業技術研究センター ○河原大吾

元茨城県産業技術イノベーションセンター 鴨志田敏行

元日本 X 線検査(株) 加藤 潔

2-6 保守検査におけるデジタル RT の魅力

IM インспекションテクノロジー ○三浦 到

2-7 インフラ診断のための新たな X 線デジタルラジオグラフィ技術

(国研)産業技術総合研究所 ○鈴木良一、加藤英俊

藤原 健、佐藤大輔

休憩 (16:45~16:55)

3. X 線 CT による三次元計測 (16:55~17:55)

座長 富澤雅美 (東芝 IT コントロールシステム(株))

3-1 計測 CT システムによる寸法測定における位置合わせ精度の向上

(株)島津製作所 ○藤本弘之、大西修平

3-2 離散ラドン変換の厳密解に基づく CT 画像再構成法とそのセグメンテーション処理に対する有効性

(国研)理化学研究所 ○高梨宇宙

田村 勝、澁谷仁寿

閉会挨拶 (17:55~18:00)

放射線部門主査 釜田敏光 (ポニー工業(株))

- ・座長は依頼中のため、変更になる場合があります。
- ・全ての発表において、オンライン上の発表資料の撮影(録画)、録音、保存、印刷等の行為は禁止します。
- ・シンポジウム運営側にて録画を行う場合がありますが、録画はシンポジウム運営上の利用に限定され、公表等は一切行いません。